



れんしんかん通信

01-09月号(No.306) 発行：足柄錬心館

アツイ夏休み終了！取り組み姿勢が向上

夏休みが終了しました！ほとんどの剣士が稽古を休まずにこの書中の稽古をやりきりました。よく頑張りましたね！また、7月から各種大会に出場した剣士も、その後の取り組み姿勢が向上した剣士が多く、夏休み前に比べてだいぶ良くなりました。

まだまだ頑張りを出し切っていない剣士もいますが、ここから気持ちを新たに、やってこなかったことをしっかり挽回して、全体がもっと向上する事を望んでいます！

道場連盟強化練習試合に出場

8月14日(水)、お盆期間の真っ只中でしたが、県道場連盟主催の小学生強化練習試合が県立武道館で開催されました。3人制団体戦の錬成会で、錬心館で2チーム編成しました。

出場した剣士たちは、各試合をやりながら、監督の福迫先生、相浦先生から細かなアドバイスをもらい、様々なチャレンジをしていたように見えました。たくさん負けましたが、大きな力になったと思います。頑張りましょう！！応援に来てくれた莉緒ちゃん、結翔くんもありがとう！



暑い中、よく頑張りました！

2年ぶりの富士山杯に出場！

7年前に富士山が世界遺産に登録されたのを機に始まりました「富士山杯争奪少年少女剣道大会」に出場、昨年は体育館の改修工事で開催されず、2年ぶりの出場となりました。この大会は、初日に日本を代表する選手や先生の指導による剣道クリニックと錬成会、2日目に本大会で構成されています。

今回大会、錬心館は、初日の剣道クリニックと錬成会に2チーム、本大会に1チームが出場しました。剣道クリニックでは、日本代表チームの監督である石田利也先生(警察大学校教授・剣道教士8段)と、実力No.1の高鍋 進選手(神奈川県警・剣道教士7段)が指導し



高鍋選手の指導



てくださいました。午後の錬成会は2チームに分かれ、本多先生、今村先生が監督としてご指導くださいました。

2日目の本大会では、予選4チームリーグに臨みましたが、気持ちが空回りしたような試合ばかりで、決勝トーナメントには進めませんでした。それでも、敗戦が決まってから選手たちは体育館の外で1,000本素振りを実行、次でのリベンジを誓っていました。

頑張りましょう！！

←初日出場の剣士たち

新しい先生が来てくれました！

少しご紹介が遅くなりました！6月から新しい先生が加わってくれました！江田 弥羽(えだ・みう)先生です！

江田先生は、埼玉県出身、高校を卒業したばかりですが、今年の4月から小田原市の消防士として奉職、縁があって錬心館に来てくれることになりました！

剣士の皆とは一番年齢の近い、若い先生です！たくさん稽古をもらって、たくさん色々な事を教わって、一緒に頑張っていきましょう！ミウ先生、宜しくお願いします！



弥羽(みう)先生です！

待望の防具が届きました！



防具をつけたみよくん

3月から入門した青砥海由(あおと・みよし)くん、一生懸命稽古を頑張ってくれていますが、このたび、待望の防具が届きました！カッコイイですね！

すぐに面をつける練習を始めて、またひとつ、更にステップアップして頑張っていこう！

錬心館ホームページも facebook もよろしく！

錬心館では、剣士みんなの頑張りを中心に、ホームページやフェイスブックで情報発信をしています。

保護者の皆様で facebook 登録されているようでしたら、是非「足柄錬心館」検索して頂き、「いいね！」をお願いします！

ホームページも閲覧宜しくをお願いします！会員限定のスケジュールページ等は、パスワード「renshinman」で開きます。



8月の皆勤賞・精勤賞 ~休まずよくがんばりました~

☆皆勤賞…31名

☆精勤賞…9名

皆勤賞…大谷光生・野呂田唯斗・岩本寛大・枘富雄一・泉水柚希・棚本天斗・林実幸・田村啓人・石渡益成人・丸尾光弘・中村和義・宇佐美輝・和田小桜・田村伊織・齊藤健太・岩本嵩生・今村咲翔・石渡稟音・小俣結翔・野村賢太郎・山崎稜太・山崎晃太・今村奏翔・浅井遼太・呉地葵飛・黒井裕斗・和田琴羽・青砥海由・黒井菜帆・野村亮太郎・今村謙翔 31名

コラム@KENDO (アット剣道) vol.143

私が小学校の時

小5の4月から剣道を始めた私は、まずは誰よりも早く道場に行くことが大好きでした。用務員さんのところに体育館のカギを借りに行くことや、先生方が来る前に仲間たちと少し遊べる時間がありましたから、それがとても楽しみだったことを覚えています。

私より早くに剣道を始めている同級生や後輩たちがいましたので、選手になるには、その子たちに何かで勝らないといけません。自然と頑張っていたように思います。そんなに負けず嫌いというわけではないのですが、考えることも楽しく、何より、試合に出たかっと思えます。稽古は一度も休みませんでしたね。寒稽古や暑稽古も自由参加でしたが、休みませんでした。

これは40年前以上の話です。今、剣道を志している子供達とは全く環境が違いますが、上記のようなことは、両親に促された部分と、自分自身や仲間たちとの関係の中で芽生えた気持ちだったように記憶しています。ちなみに当時は稽古への往復はバスと徒歩、なので私の両親は、私が剣道をやっている姿は2回くらいしか見たことがないと思います(^_^)。

今と昔は違う事はわかっているのですが、不易流行、変わってないこと、変えてはいけないこともたくさんあると思います。おそらくそれが、剣道がスポーツではなく武道、「道」である部分なのかなと思います。もっともっと、自分たちで楽しんで欲しいと思います。ガンバレ！

(奥)